

2018年度
第43期 事業報告書

〔 自 2018年4月 1日
至 2019年3月31日 〕

公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会
2019年5月16日

[公益目的事業 1]

高等学校における文芸教育振興のための助成

第53回「高校生のための文化講演会」

文部科学省、各都道府県教育委員会、集英社の後援、新聞社37社との共催で、下記のとおり実施した。

●実施概要

期間	2018年5月21日より9月19日まで
実施校	38都道府県75校(台風のため1校中止) 53回累計4,057校
聴講生徒数	42,534名 (53回累計聴講生徒数3,501,310名)
講師	33名 (講演時間60分)

北海道から沖縄までの75校で、作家の島田雅彦氏、村山由佳氏、医師で作家の鎌田實氏ら講師33名が講演を行った。開催校には「集英社文庫100冊セット」「集英社国語辞典」及び講師の著書を寄贈、当財団編集の冊子「読書への招待」を聴講生徒全員に配布した。

聴講生徒からは「勉強になり、すごく心に響く講演だった」「もっと広い世界を学びたいと思った」等の感想が寄せられた。

[公益目的事業 2]

高等学校及び高等学校生徒を対象とする創作活動に対する顕彰、助成

第38回「全国高校生読書体験記コンクール」

文部科学省、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、新聞社36社、集英社の後援で、下記のとおり実施した。

●開催期間

募集期間	2018年6月1日～9月30日
都道府県選考	2018年10月1日～31日
中央選考	2018年12月5日
表彰式	2019年1月28日東京ドームホテル (出席者117名)

●開催規模

- 応募数 96,805編（全国47都道府県438校、高1～3年）
- 告知 2018年6月応募要項一式を全国の高校5,714校に送付。
- 応募 学校を通じての応募。校内予選で1校5編以内の作品を選び、各都道府県の応募先に提出。
- 選考 各都道府県別選考委員会で「都道府県入選」5編を選出、その中で「優良賞」とされた1編が中央選考委員会に送られた。「優良賞」全国計47編の中から、中央選考委員会で「中央入賞」作品8編を決定、そのうちの最優秀作品1編を「文部科学大臣賞」とした。
- 中央選考委員：辻原 登（作家）、穂村 弘（歌人）、角田光代（作家）
（敬称略） 清原洋一（文部科学省初等中等教育局主任視学官）
小林正人（全国高等学校長協会 都立永山高校校長）

- 賞 中央入賞 8名
- ・文部科学大臣賞 1名 賞状・楯・記念品
 - ・全国高等学校長協会賞 2名 賞状・楯・記念品
 - ・一ツ橋文芸教育振興会賞 5名 賞状・楯・記念品
- 中央入賞記念品は、図書カード（1万円）とボールペン
- 中央入賞者8名と付き添い教師を東京へ招待し表彰。
- 優良賞 39名 賞状・記念品（ボールペン）
- 入選 188名 賞状・記念品（ボールペン）
- 学校賞 図書
- ・中央入賞者在学校 楯・「集英社文庫100冊セット」
 - ・優良賞入賞者在学校 「集英社文庫50冊セット」
 - ・入選者在学校 「集英社国語辞典」

【公益目的事業3】

青少年の健全な育成に関する調査研究、実践活動を行っている団体及び個人に対する後援、助成

① 「中華人民共和国 高校生日本語作文コンクール」への助成

「中華人民共和国 高校生日本語作文コンクール」は、「一般財団法人日本児童教育振興財団」内「日本青少年研究所」の事業。中華人民共和国で日本語を学ぶ高校生たちが日本語で綴った作文を顕彰する。2018年度は274編の応募があった。

4月に北京で表彰式が行われた後、10月に受賞者代表18名が来日。岩手・陸前高田の高田高校や被災地を訪問するなど、生徒と交流した。

② 全国高等学校国語教育研究連合会への助成

全国高等学校国語教育研究連合会（全国連）の傘下の地方組織で開かれる高等学校の国語科教師の研究会（国語部会）からの要請に応え、講師を派遣。近年、国語教育の重要性が叫ばれる中、作家・有識者からの意見が強く求められており、その一助となることを目的に助成を行った。2018年度は、当財団の評議員で文化人類学者の船曳建夫氏、作家の森まゆみ氏、関川夏央氏による3講演を実施した。

③ 全国高等学校文化連盟への協賛・助成

公益社団法人全国高等学校文化連盟（高文連）による中央・地方の高校生文芸コンクールを中心に、図書専門部会、文芸部会などの読書推進活動へ助成を行った。

本年度は、北海道の全道高等学校図書研究大会で作家の島田雅彦氏、福島で行われた北海道・東北文芸大会で当財団の理事で歌人の穂村弘氏、岩手県「文芸祭」で作家の谷村志穂氏が講演した。

また、12月に開かれた全国高等学校文芸コンクール（主催：全国高等学校文化連盟、読売新聞社）に協賛、作家・奥泉光氏の講演を実施し、文芸誌部門の優秀賞受賞校へ「一ツ橋文芸教育振興会賞」として賞状を授与、副賞「集英社文庫50冊セット」を贈呈した。

昨年度に続き、当財団が講演依頼する作家が数多く所属する日本ペンクラブ主催の文学イベント「ふるさとと文学2018～菊池寛の高松」に助成した。

また継続して、様々なジャンルの本を取りあげ書評する新聞『週刊 読書人』を買い上げ、全国168高等学校の国語科担当主任教諭に送付した。

④ 「ノベル大賞」への助成

若手作家の登龍門の一つである集英社の「ノベル大賞」を共催、助成した。この賞からは、唯川恵氏、山本文緒氏、谷瑞恵氏、須賀しのぶ氏ら現在第一線で活躍する作家が輩出されている。

本年度の応募作品数は1,019篇、全応募作の中から数次にわたる選考が行われ、大賞1作、佳作2作が決定した。

⑤ 「聞き書き甲子園」への助成

「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワークなどが主催。全国の高校生100人を森、海、川の名人100人と1対1に組み合わせて、聞き書き取材&レポートさせる事業に助成を行った。

- ・聞き書き甲子園ポスター、チラシ、応募要項の印刷費を助成。
- ・応募資料を全国5,714校の高校に配布。(当財団が6月に配布した「全国高校生読書体験記コンクール応募要項」に同梱)
- ・聞き書き事前研修会(8月)、発表会・表彰式(3月)への参加。

⑥ 災害罹災校への支援援助

2018年7月上旬の西日本を中心とした豪雨災害で、被害の大きかった3県(愛媛県、広島県、岡山県)に対して、高校講演会、読書体験記コンクール事業を共同で実施している地方新聞3社の社会事業団を通して1県当たり30万円の義捐金寄付を行った。

以上

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条 第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

2019年4月 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会